



## 政治の質を高めるために

スピードある政治

人事権掌握が政治主導のカギ

統治機構の改革は不可欠

政治にも規制緩和と競争原理を

絆を力に。2012年 Vol.10 [討議資料]  
自民党  
千葉県第二選挙区支部 小林鷹之事務所発行  
(八千代市・習志野市・花見川区)

## 編集後記

みなさまこんにちは。連日厳しい暑さが続いていますね。小林はこの暑さの中、皆様の声を国政に届けようと真っ黒にならないながら外を走り回っております。そんな中、八千代にて小林鷹之八千代後援会が立ち上りました。小林鷹之が一人でも多くの方の想いを国政の場でカタチにしていくために、絆を結ぶ場です。ご入会頂ける方は小林鷹之事務所(043-239-5192)までご連絡下さい。八千代市以外の方もご入会頂けますのでどうぞよろしくお願い致します。なお、他の地区でも後援会を立ち上げて行く予定です。(スタッフ)



鷹之ブログ [ameblo.jp/kobahawk](http://ameblo.jp/kobahawk)

日々のニュースを、わかりやすく解説しながら自身の意見を述べているブログです。ぜひお読み下さい。

twitter [twitter.com/kobahawk](https://twitter.com/kobahawk)

2歳の娘のことから天気のこと食べ物のこと、気になったことをほぼ毎日つぶやいています。

ホームページ [www.kobayashi-takayuki.jp](http://www.kobayashi-takayuki.jp)

小林鷹之についてもっと知りたい、ボランティアをお願いできる方、献金案内はどちらから。

## 小林鷹之がお伺いします！

小林鷹之事務所では、小林本人の意見を一人でも多くの方に伝えさせて顶くために、5名様～10名様であっても小林鷹之本人が伺わせて頂きます。お気軽に電話、FAX、メールにて是非事務所まで御連絡ください。

TEL: 043-239-5192 FAX: 043-239-5193

Email : [info@kobayashi-takayuki.jp](mailto:info@kobayashi-takayuki.jp)

小林鷹之 千葉・習志野事務所

〒262-0045

千葉県千葉市花見川区作新台 4-6-26

小林鷹之 八千代事務所

〒276-0042

千葉県八千代市ゆりのき台 3-3-5 アットホームセンター第2ビル 202号室

## 活動報告



◀第19回市民まつり「習志野きらっと2012」にサンバダンサーとして参加。約千人の方と一緒に踊り、皆さんと一緒に踊る楽しさを教えて頂きました。ありがとうございました。



▶花見川区にて地元市議主催の講演会に小池百合子先生と共に弁士として参加。「明日の日本を考える」をテーマに思いの丈を語らせて頂きました。



▲地元夏祭りの盆踊りに参加。去年よりレパートリーが増えました！

▶八千代市にて八千代後援会発会式を開催。ご参加して下さった皆様ありがとうございました。



## 小林鷹之プロフィール

東京大学法学部卒業。ハーバード大学行政大学院修了。平成11年大蔵省(現財務省)入省後、財政運営から国際金融に至るまで幅広い分野の政策立案を担当。在米日本大使館に出向した際、急速に変化していく国際社会の中で、日本が為す術もなく取り残されていく姿に危機感を抱き、一昨年春財務省を退職。公募を経て自民党千葉二区支部長就任。現在37歳。一女の父。

## 政治の質を高めるために

### 【スピードある政治】

オリエンピック、そして、甲子園。暑くて熱い夏。選手たちが熱くなればなるほど、見ている私たちも熱くなりますね。なのに、永田町が政局で熱くなればなるほど国民は冷めていく…。長引く不景気、膨れ上がる借錢、絶えないじめ、不安定な外交。この国が置かれている状況を考えれば、党派を超えた協力が求められているのであって、党が分裂していく現象は、流れに逆行しています。政治がゲーム化する中で、政局は混沌とし、決められない政治が常態化しています。今、政治に求められているのはスピード。世界の流れについていける、或いは、世界の先を行けるスピードです。

### 【人事権掌握が政治主導の鍵】

政治にスピードが生まれるのは、政治家と官僚との関係の中で、政治主導が実現できていないからです。「脱藩官僚」である私自身の経験に照らせば、政治主導を実現する力の源泉は人事権です。6年連続で総理が交替し、それ以上に短い間隔で大臣が交替する。こんな状況では官僚が上司である政治家の言うことを聞く訳がありません。嫌な指示は上司が替わるまで寝かせ

ておけばいいわけです。政治家が人事権を掌握するには、政権の安定が大前提。その意味で、政党の良し悪しの前に、統治機構という

政治の仕組みに大きな問題があると思います。なお、

現行の仕組みの下で野田总理が、批判を浴びながらも、鳩山・菅両总理のみならず、歴代自民党总理も正面から取り組めなかつた難題に対し、逃げずに愚直に取り組む姿勢については、同じ千葉県民として、そして、政治を志す一人として、政党の枠を越えて、評価できる部分もあると感じています。少なくとも、目先のことだけを考えて、主張や所属政党が変わら方々と比べれば、はるかに国家に対する使命感があると感じます。

### 【統治機構の改革は不可欠】

いずれにしても、政治に安定をもたらしてこそ政治主導が実現し、スピード感ある政治が可能になります。ねじれ国会が生じた途端に法案審議が停滞し、国益を損なう状況を一刻も早く解消していく必要があります。

首相公選制、一院制、衆参の選挙時期を重ねる等、様々な案が出される中で、ベストな統治機構のあり方を急に議論していく必要があります。

### 【政治にこそ競争原理を】

また、スピードある政治

が実現したとしても、拙速な判断しかできなければ意味がありません。国會議員の質を上げ、より成熟した政治を実現するためにも、

私は選挙制度改革に取り組み、政治に競争原理を導入します。

1選挙区から1人しか当選しない現行の小選挙区制度を廃し、3~4人

区程度の中選挙区に改編す

べきです。現行制度の下では、1つの政党から1人の候補者しか立ちませんが、複数の候補者が立候補できるようになれば、党の公約

以前に、自ら差別化を図らざるをえなくなり、政策面での切磋琢磨が生じます。

そして、最大のメリットは、これまで現職国會議員がいる選挙区からは事実上挑戦

することができなかつた、政治への志ある若い世代が挑戦しやすくなることです。

新規参入の壁を低くし、政治に競争原理をもたらし、

新陳代謝を活発にするのです。

統治機構と選挙制度の改革に取り組むことによって、私たち国民が永田町と熱を共有できるような質の高い政治を実現してまいります。

平成二十四年八月吉日  
自民党千葉県第二選挙区支部長

小林鷹之